

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第89 回理事会議事録

日 時:2025 年 9 月 8 日(月) 15:00~17:00

開 催: zoom によるオンライン開催

出席者:米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、家原 知子、大植 孝治、木下 義晶、富澤 大輔、
真部 淳、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之、上原 秀一郎、大平 美紀、
櫻井 英幸、後藤 裕明、滝田 順子、竹之内 直子、野上 恵嗣(以上理事)
多賀 崇、滝 智彦(以上監事)
田尻 達郎(第 67 回学術集会長)
松本 公一(第 68 回学術集会長)
康 勝好(第 69 回学術集会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中18名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事長 米田光宏は議長となり、審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の上原担当理事より、現在の会員数の報告とともに入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

2. 小児領域におけるゲノムプロファイリング検査算定に係る要望

保険診療委員会の後藤担当理事より、小児領域におけるゲノムプロファイリング検査算定に係る要望書の提出について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

3. レゴラフェニブ使用実態調査について

保険診療委員会の後藤担当理事より、本会会員へのレゴラフェニブ使用実態調査について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

4. ベンラリズマブ HES 在宅自己注射要望書について

保険診療委員会の後藤担当理事より、ベンラリズマブ HES 在宅自己注射要望書について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

5. ゲムシタビン点滴静注用薬価削除に関する検討依頼書について

保険診療委員会の後藤担当理事より、ゲムシタビン点滴静注用薬価削除に関する検討依頼書について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

6. 芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍(BPDCN)患者を対象とした甲医薬品 NS-401 の第 IV 相臨床試験における症例集積方策の検討について

米田理事長より、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍(BPDCN)患者を対象とした甲医薬品 NS-401 の第 IV 相臨床試験における症例集積方策の検討について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

7. 小児がん診療ガイドラインの今後の在り方について

診療ガイドライン委員会の盛武担当理事より、小児がん診療ガイドラインの今後の在り方に関する委

員会での議論について提示され、総合的な方向性の確認がなされた。

8. 疾患登録の中央一括倫理審査利用に関するアンケート調査について

学術・調査委員会の木下担当理事より、疾患登録の中央一括倫理審査利用に関するアンケート調査について示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

9. 登録事業の研究計画の第 6.1 版への更新について

学術・調査委員会の木下担当理事より、登録事業の研究計画の第 6.1 版への更新について資料に示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

10. 学術集会における二重発表・アンコール演題の取り扱いについて

学術集会プログラム委員会の家原担当理事より、学術集会における二重発表・アンコール演題の取り扱いについての指針(案)が示され、基本的な方針として、異議なく承認され、来年度の学術集会からの運用を目指し、引き続き検討を重ねることとなった。

11. 小児がんのこどもの入院生活に関する意見募集をすることについて

ケア共創委員会の竹之内担当理事より、小児がんのこどもの入院生活に関する意見募集をすることについて、その目的や対象、募集方法などが示され、引き続き検討を重ねることとなった。

12. こどものがん治療薬開発シンポジウム

米田理事長より、2026 年 1 月に開催される「こどものがん治療薬開発シンポジウム」への共催について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

13. 有償での文献提供、AI 利用に関して

学会誌編集委員会の加藤担当理事より、学術著作権協会より提案を受けた、有償での文献提供、AI 利用に関して資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

14. 寄付申し込みについて

企業 1 社からの寄付申し込みについて資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の上原担当理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

2. 学術集会報告

1) 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第67回学術集の田尻会長より、2025 年 11月19日(水)～21日(金)に開催予定の第 67 回学術集会の進捗状況が報告され、プログラムが共有された。

2) 第68回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第68回学術集会の松本会長より、2026 年 11 月 12 日(木)～14 日(土)に開催予定の第 68 回学術集会の準備状況について報告された。

3) 第69 回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第69 回学術集会の康会長より、2027 年 11 月 5 日(金)～7 日(日)に開催予定の第 69 回学術集会の準備状況について報告された。

3. 委員会報告

1) 研究審査委員会報告

大平担当理事より、研究審査委員会の活動報告として、研究審査について、2 件の承認と、1 件の審議中であることが報告された。

2)専門医制度委員会

富澤担当理事より、専門医制度委員会の活動報告として、下記について報告された。

- ① 試験問題ブラッシュアップ会議の実施
- ② 小児血液・がん専門医および認定外科医試験：9/13(土)、9/14(日)
＜2025 年小児血液・がん専門医試験受験者＞
一般受験 2 名
血液免除受験 23 名
＜2025 年小児がん認定外科医試験受験者＞
試験受験者(がん治なし) 5 名
試験受験者(がん治なし再認定) 1 名
- ③ 日本専門医機構サブスペシャリティ(サブスペ)領域専門医への申請
・申請資料(レビューシート、整備指針、カリキュラム)の最終版についてメール審議にて 4/8 に承認、同日、小児科領域サブスペ連絡協議会に提出。
・6/25 に第 1 回日本血液学会／日本小児血液・がん学会連絡会議が開催され、「小児がん専門医」の申請準備状況について共有。
・8/5 に日本小児科学会分科会へのサブスペシャリティ専門医制度についての説明会が開催され、JSPHO からは富澤担当理事が出席。
小児循環器領域、新生児領域、小児神経領域が機構認定を受け、臨床遺伝領域については現在審査中であることが共有された。
・「小児がん専門医」の申請準備状況について説明した。
・今後、小児科領域サブスペ連絡協議会での検討が本格化する。最終的に日本小児科学会理事会に諮り、その承認後にサブスペ連絡協議会を通じて機構に申請することになる。機構のサブスペ認定を受けた場合、審査認定料の支払い(40 万円程度)が発生する。さらに新専門医制度への移行に向けた当学会内での準備が本格化する。専門医制度規則および施行細則の改正等が必要になり、社員総会での承認が必要となる(臨時の社員総会開催の可能性もあり)。

3)保険診療委員会報告

後藤担当理事より、コスメ現供給について共有された。

4)将来計画委員会

米田理事長より、委員会を開催し、本会会員の特殊な領域との連携について、また、理事の領域および定数などについて検討したことが報告された。

IV.理事長報告

米田理事長より、”5th International Symposium on Asian Childhood Cancer”
”WHO GICC in Tokyo 2025” 名義後援依頼を承認したことが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和 7 年 9 月 8 日

日本小児血液・がん学会 第89 回理事会

理事長 米田 光宏

監 事 多賀 崇

監 事 滝 智彦